

アヌココロ アイヌ イコロマケシル ソンコ

アヌアヌ

国立アイヌ民族博物館ニュースレター

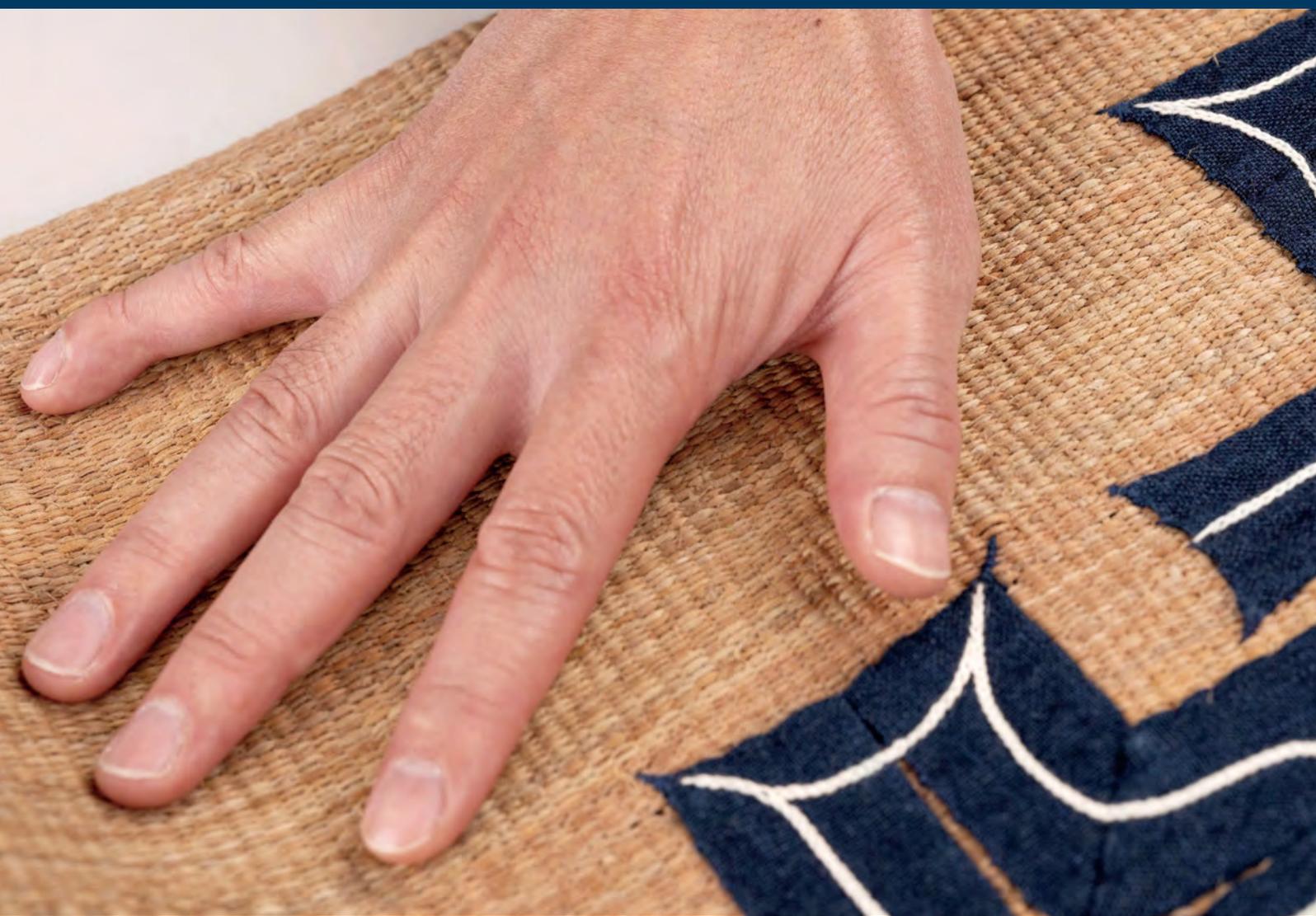


NATIONAL AINU MUSEUM

ANUANU

023

2026.03



国立アイヌ民族博物館 第10回テーマ展示

ケレ ヤン、ヌカラ ヤン、ヌ ヤン
さわる、みる、きく
国立アイヌ民族博物館 2

実際に手でふれたり、
声や音をきいたり、
においを感じることができる
展示です!

詳しくは2ページへ!



ケレ ヤン、 ヌカラ ヤン、 ヌ ヤン



さわる、みる、まぐ

国立アイヌ民族博物館 2



サッチェブづくり

国立アイヌ民族博物館では、「みんなが楽しみ、基本展示のことがよくわかる」をテーマにした展示をおこないます。ウポポイではこれからもアイヌ文化を大切にしていきたいと考えています。今回は、そのためにウポポイでどういうことをおこなっているのかの紹介や、基本展示室にある生活の道具などにさわられる展示をします。さわることを感じたり気づいたりすることもたくさんあります。

※「ケレ ヤン、ヌカラ ヤン、ヌ ヤン」はアイヌ語で「さわってください、みてください、きいてください」という意味です。

※この展示は2021年度にも開催した「みんなが楽しみ、基本展示のことがよくわかる」をテーマにした展示の第2弾です。



前回の展示の様子

2026.3.14^土 → 5.17^日 国立アイヌ民族博物館 特別展示室

【休館日】毎週月曜日 ▶5/4^月は開館します。

【開館時間】3/14^土～3/31^火 9:00～17:00(最終入館16:30)

4/ 1^水～5/17^日 9:00～18:00(最終入館17:30)

※開館時間は変更になる場合があります。詳しくは当館ウェブサイトをご確認ください。

【主催】国立アイヌ民族博物館 【後援】公益社団法人北海道アイヌ協会

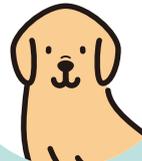
【協力】九州国立博物館、公益財団法人北海道埋蔵文化財センター、公益社団法人北海道ろうあ連盟、社会福祉法人白老宏友会、社会福祉法人苫小牧市社会福祉協議会、社会福祉法人ホープフロンティア、白老町教育委員会、特定非営利活動法人NPOウテカンバ、苫小牧市点訳赤十字奉仕団、苫小牧身体障がい者福祉連合会、南山大学人類学博物館

点字解説あり



手話解説あり

盲導犬・聴導犬・介助犬
入館OK



まってるね



1章 ケレ

さわる

「ケレ」はアイヌ語で「さわる」という意味です。この章では、「さわる」をキーワードに、衣服や儀礼まねいを紹介します。刺しゅうされた衣服や、イナウケマキリ(イナウをつくる時に使う小刀)のレプリカにさわることができます。



木綿でつくった衣服
山崎シマ子作



アットウシ
樹皮でつくった衣服
河岸麗子作



ウポポイでイナウをつくっているようす

2章 イタク

はなす

「イタク」はアイヌ語で「はなす」という意味です。この章では、アイヌ語について紹介します。アイヌ語を声に出したり、書いたり、きいたりしながら、楽しむことができます。



文字ブロック

3章 ヌ

きく

「ヌ」はアイヌ語で「きく」という意味です。アイヌ語のヌは、においを感じることも意味します。この章では、歌や食べ物、人や物の行き来について紹介します。声や音をきいたり、においを感じたりすることができます。

シンタ(ゆりかご)
貝澤守作



トルレブアカム
(オオウバユリのだんご)



『ウポポイに音でさわる』2021年
撮影・録音・編集・整音 春日聡
制作 国立アイヌ民族博物館

全イベント
手話通訳あり

ホリデーイベント

こころんかい
講演会

「手でさわる、心にさわる
—ユニバーサル・ミュージアムから
人類の未来へ—」

講師：広瀬浩二郎氏(国立民族学博物館教授)
5/4(月)祝 13:30~15:00(受付13:00より)

ワークショップ

4/25(土) 博物館のアイヌ語表示を探してみよう! 特別版
5/5(火)祝 アイヌ語を点字でかいてみよう

ユニバーサル・ミュージアム&パーク

4/29(水)祝、5/3(日)祝
博物館を飛び出して、ウポポイ園内のプログラムとコラボ!

展示担当者によるギャラリートーク

3/14(土)、28(土)、4/12(日)、5/17(日)

詳しくは
当館ウェブサイトを
ご覧ください



国立アイヌ民族博物館 2026(令和8)年度 特別展示・テーマ展示情報



第10回テーマ展示

「ケレヤン、ヌカラヤン、ヌヤン
 さわる、みる、きく
 国立アイヌ民族博物館 2」

会期：2026年3/14(土)～5/17(日)



第11回特別展示

「アイヌ民族と博覧会-150年の経験-」

会期：2026年6/20(土)～8/23(日)



2026(令和8)年度 イベント情報

2026
 4

12(日) 第10回テーマ展示
 関連イベント

18(土) だれでもアイヌ語教室★



25(土) 第10回テーマ展示
 関連イベント

26(日) 連続講座
 「ウポポイ大学」第1回

29(水祝) 第10回テーマ展示
 関連イベント

基本展示室ギャラリートーク
 4(土)、5(日)、11(土)、19(日)



第12回特別展示

「コソテとルウンペ」(仮)

会期：2026年9/12(土)～11/15(日)

第11回テーマ展示

「収蔵資料展」(仮)

会期：2026年12/12(土)～2027年2/14(日)

第12回テーマ展示

「アイヌ民族と聖公会
 -バチラー八重子と有賀千代吉」(仮)

会期：2027年3/13(土)～5/16(日)



● 特別展示・テーマ展示 年間早見カレンダー

2026 4							5							6							7						
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5				1	2	3			1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5		
6	7	8	9	10	11	12	4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14	6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19	11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21	13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26	18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28	20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30				25	26	27	28	29	30	31	29	30						27	28	29	30	31		
8							9							10							11						
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
				1	2			1	2	3	4	5	6			1	2	3	4						1		
3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13	5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8
10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20	12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15
17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27	19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22
24	25	26	27	28	29	30	28	29	30				26	27	28	29	30	31	23	24	25	26	27	28	29		
31																				30							
12							2027 1							2							3						
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6				1	2	3		1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14	8	9	10	11	12	13	14
14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21	15	16	17	18	19	20	21
21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28	22	23	24	25	26	27	28
28	29	30	31				25	26	27	28	29	30	31	29	30						29	30	31				

■ 休館日

5

2(土) ウコニアシをやってみよう★

3(日祝) 第10回テーマ展示
 関連イベント

4(月祝) 第10回テーマ展示
 関連イベント

5(火祝) 第10回テーマ展示
 関連イベント

16(土) テンパテンパしてみよう!★

17(日) 第10回テーマ展示
 関連イベント

23(土) アイヌと自然★

24(日) 連続講座
 「ウポポイ大学」第2回

基本展示室ギャラリートーク
 6(水振)、9(土)、10(日)、30(土)

6

13(土) だれでもアイヌ語教室★

20(土) 第11回特別展示
 関連イベント

28(日) 連続講座
 「ウポポイ大学」第3回

基本展示室ギャラリートーク
 6(土)、7(日)、14(日)、21(日)、27(土)

★子どもと一緒に!

小学生以下のお友達も楽しめるイベントです。
 もちろん大人の方の参加も大歓迎!

国立アイヌ民族博物館 連続講座

ウポポイ大学

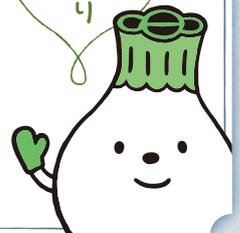
当講座は「アイヌ民族の歴史と文化」と、当館の展示等に対する理解を深めることを目的とした、座学形式のプログラムです。

- 第1回 4.26(日) **入学式**
【講演テーマ】ウアイヌコロ コタンへ、ようこそ。
講師：館長 野本正博
- 第2回 5.24(日) 【講演テーマ】私たちのことば
講師：小林美紀
- 第3回 6.28(日) 【講演テーマ】私たちの世界
講師：竹内隼人
- 第4回 7.26(日) 【講演テーマ】私たちの歴史
講師：鈴木建治
- 第5回 8.22(土) 【講演テーマ】私たちの暮らし
講師：八幡巴絵
- 第6回 8.23(日) 【講演テーマ】探究展示 テンパテンパ
講師：笹木一義
- 第7回 8.30(日) 【講演テーマ】私たちのしごと
講師：副館長 内田祐一
- 第8回 9.27(日) 【講演テーマ】私たちの交流
講師：名誉館長 佐々木史郎
- 第9回 10.25(日) 【講演テーマ】アイヌ語のなかの多様性
講師：深澤美香
- 第10回 11.22(日) 【講演テーマ】儀礼につかう道具
講師：藪中剛司
- 第11回 12.20(日) 【講演テーマ】アイヌ民族の衣服
講師：北嶋イサイカ
- 第12回 1.24(日) 【講演テーマ】近現代史を生きる個人
講師：関口由彦
- 第13回 2.21(日) 【講演テーマ】一年のしごと
講師：宮地鼓
- 第14回 3.21(日) 【講演テーマ】アイヌ民族が作った博物館 / 卒業式
講師：立石信一

2026年度
のテーマ

「基本展示をよりよく知る、学ぶ」

アイヌ文化を
1年かけてじっくり
学べるポム!



開講スケジュール	2026(令和8)年4月より、原則第4日曜日に開催
開講時間	各回 13:30~14:30
会場	国立アイヌ民族博物館1階 交流室

詳しくは当館ウェブサイトをご覧ください



イタは、盆を意味するアイヌ語です。飾ったり、食べ物を載せたりするのに使います。このイタには、渦巻き状のアイヌ模様などの彫刻が施されています。茶たくはさじ状の形で、このような形は珍しいです。こちらにもアイヌ模様が施されています。このような工芸品は、江戸時代後期(18世紀)以降、アイヌによって和人向けのお土産品や贈り物として作られてきました。

このイタ、茶たくは、幕末から明治にかけての会津藩出身の医師・蓮沼誠造が入手

したものです。アイヌから診療代の代わりにお礼としてもらったものと伝わっています。蓮沼は、箱館戦争(1868(明治元)年～1869(明治2)年)の際、榎本武揚軍の医師として、箱館病院で負傷兵の治療をしました。箱館病院では、頭取の高松凌雲(1836(天保7)年～1916(大正5)年)のもと、蓮沼を含む医師たちはみな敵味方の区別なく治療にあたりました。蓮沼がこの資料を入手した時期は不明ですが、その頃に入手した可能性もあります。その

後蓮沼は、1879(明治12)年に高松の呼びかけに応じ、東京で高松らとともに経済的に厳しい方々のための無料の診療施設である同愛社を設立し、そこで医療に従事しました。入手のエピ

ソードや、箱館や東京での医療活動の記録からは、蓮沼が困っている人は誰でも助ける、思いやりのある医師であったということが感じられます。蓮沼のひ孫にあたる人物によると、このイタは日常的に、茶たくは来客用に使われていたようです。この度、「アイヌの皆様に感謝の気持ちとともにお返ししたい」ということで当館に寄贈いただきました。今後、展示や調査研究などで紹介できればと思います。

(研究員 市川暢子)



イタ



茶たく

参考文献：

- 齋藤玲子 (1994) 「北方民族文化研究における観光人類学的視点(1)：江戸～大正期におけるアイヌの場合」『北海道立北方民族博物館研究紀要』第3巻、第3号、pp.139-160
- 島田保久編著 (2015) 『蝦夷地醫家人名字彙』北海道図書企画
- 山田みどり (2019) 「高松凌雲と同愛社 ―その生涯・思想と医療福祉の源流としての同愛社事業―」日本福祉大学博士論文

見て見て！
園内サイン

ウポポイの園内サインをご紹介します、皆さまにより広くアイヌ語を知っていただくコーナーです！

11 コタン セレマク 管理運営施設

「管理運営施設」はウポポイの運営本部がある事務所です。アイヌ語でコタン セレマクといいます。コタンは「村、集落」、セレマクは位置として「～の背後」、名詞として「～の背後にあるもの、～の守り神」という意味があり、合わせて「村の背後にあるもの」などという意味になります。民族共生象徴空間のアイヌ語名が「ウアイヌコロ コタン」なので、施設全体を大きな村として背後から支える存在となります。来園者はお手洗いや自動販売機しか利用できないためなじみの薄い施設かと思いますが、ウポポイの前身であるアイヌ民族博物館の外観をそのままに中を改修して使用しています。実は外観がチセの形になっていることを知っていましたか。(伝承課 山丸賢雄)



コタンセレマク
管理運営施設

Upopoy Administration Office
管理运营设施
管理營運設施
관리운영시설



Report

調査研究プロジェクト：2025K03アイヌ語AIの開発とその活用に関する研究

(研究主査 小林美紀)



本調査研究プロジェクト関連研究会での河原達也教授による講演の様子(2025年11月)

今年度、国立アイヌ民族博物館調査研究プロジェクトとして、「アイヌ語AIの開発とその活用に関する研究」を実施しています。

本調査研究プロジェクトは、京都大学情報学研究所と当館との共同研究で、

①合成音声の作成ソフトの学習への活用

②アイヌ語AIによる音声認識ソフトの開発

を主軸とするものです。

今回は、当館の状況とあわせて、本調査研究の必要性について紹介します。

< AIによる音声認識ソフトを使った口承文芸文字化データ >

nupki nup kipetun wenkur okkaypo

a=ne hine an=an ruwe ne wa wenkur a=ne p ne kusu

< 当館職員による校閲 >

nupki nupkipet un wenkur okkaypo

a=ne hine an=an pe ne wa wenkur a=ne p ne kusu

アイヌ語AIによる音声認識ソフトの文字化(左)と当館職員による校閲(右)の一例。当館職員による修正は黄色マーカー部分。

アイヌ語を勉強したいけど…

当館を含めたウポイ全体では、アイヌ語を第一言語と位置づけ、園内の各種表示や、館内の主要な展示解説文にアイヌ語を用いています。これらの多くは2020年の開館に向けて準備したもので、「先住民族であるアイヌの尊厳を尊重し、国内外にアイヌの歴史・文化に関する正しい認識と理解を促進するとともに、新たなアイヌ文化の創造及び発展に寄与する」という当館の理念に基づく取り組みのひとつといえます。

開館6年目を迎え、課題も見えてきました。当館はアイヌ語を第一言語と位置づけている施設であり、館内でも積極的にアイヌ語を使っていく環境にしたいという理想が語られることもあります。一方でアイヌ語を勉強したいと思いつつも、ハードルを感じる職員も多いようです。それはなかなか時間がとりにくいなといった業務上の要因のほか、語学学習そのものへの苦手意識や、間違ったアイヌ語を使ったらいけないと思う心理的な要因もあるようです。

アイヌ語を声に出すトレーニング

私自身、アイヌ語学習歴は他の職員と比べると比較的長いですが、これまではかつて採録されたアイヌ語音声資料の整理を中心にアイヌ語と接してきました。具体的には、アイヌ語の音声を聞いて文字として書き出し、それに日本語訳をつけていく作業です。この作業自体は、学習法としてもとても有効ですが、これだけでは口に出して上手に話すというところまではなかなか到達できません。文法を理解するほかに、声に出すというトレーニングが必要だからです。

そんなときにも役に立つツールが、本調査研究プロジェクトで扱う「合成音声の作成ソフト」です。作文したときに、声に出したらどんな発音になるかをソフトが示してくれるのです。このソフトは、京都大学の河原達也教授の研究室が開発をし、当館では実際にそれを使用しながらアイヌ語を声に出すトレーニングをして、その結果をフィードバックしていくということを行っています。

音声資料をもとにデータを増やす

アイヌ語には過去に採録された音声資料が数多くあり、これらの整理も当館にとっては重要な課題です。データがたくさんあるほどアイヌ語の研究や学習の参考になる材料として、役に立つからです。先ほど述べたように、音声資料の整理とは、アイヌ語の音声を聞いて文字として書き出し、それに日本語訳をつけていく作業です。河原達也教授の研究室が開発中の「アイヌ語AIによる音声認識ソフト」は、声を聞いて文字として書き出す部分を自動で行うものです。

これにより、音声資料の整理の効率化が見込まれます。「アイヌ語の音声を聞いて文字として書き出し、それに日本語訳をつけていく作業」は、時間と根気のいる地道な作業ですが、一方で(私にとっては)とても楽しい作業でもあります。自分自身で作業して、楽しみながら勉強していく部分と、AIを活用して効率化していく部分の折り合いもうまく探っていきたいと考えています。

国立アイヌ民族博物館・国立歴史民俗博物館 共催

「アイヌ民族と博覧会 —150年の経験—」

【会場】国立アイヌ民族博物館 特別展示室

【会期】2026(令和8)年6月20日(土)～8月23日(日)

1851年のロンドン万博以降、博覧会は帝国主義や殖産興業を背景に各地で開催され、アイヌ民族もさまざまな形で関わってきました。その体験には、多様な思いや選択がある一方、葛藤を伴う側面もありました。本展示では、出場者・出品者として関わったアイヌ民族や仲介に関わった人びと、見る側と見られる側の関係を目を向け、博覧会の150年の歩みをたどります。

ウポポイ こんな とこ20

ウポポイラジオをご存知ですか？

AIR-G[®](FM北海道)で毎週日曜朝8時から放送されている、アイヌ文化を深く知ることができる番組です。

アイヌにルーツを持つ関根摩耶さんとアナウンサーの高山秀毅さんがナビゲーターとなり、ウポポイで働くスタッフをはじめ、文化の伝承・復興・創造に取り組む人びとを訪ね、その思いや活動を丁寧に紹介しています。番組は2022年にスタートし、Podcastではこれまでに100本を超えるエピソードを公開しました。

「アイヌ文化の多様性とウポポイの役割」などさまざまな切り口で、継続的に文化発信を続けてきました。

アイヌ文化の魅力をわかりやすく伝える取り組みが評価され、2025年には「ウポポイ音楽祭2024 presented by ウポポイラジオ」がギャラクシー賞ラジオ部門で選奨を受賞しました。

放送後はradikoのタイムフリーやPodcastでも聴くことができ、気軽に学びを深められる点も魅力。いつでも、どこでも、アイヌ文化にふれられる時間をお届けしています。あなたも一度耳を傾けてみませんか。



ウポポイのSNSでもウポポイラジオの情報を発信しているポポトウレット



ウポポイラジオについて詳しくはこちらへ！

ギャラクシー賞



授賞式でたてを受け取る高山秀毅さん(写真右)

第62回ギャラクシー賞 ラジオ部門「選奨」受賞

応募総数113本の中から、ご選考いただき、名誉ある賞を受賞することができました！

過去放送内容



【テーマ】アイヌ文化の多様性とウポポイの役割

お話の内容
• 現在、これからの伝承について
• 言葉で文化を伝える魅力 など
2025.05.18/5.25放送回 出演者：館長 野本正博(写真左)



【テーマ】ヤマコラチの道 ～部隊から舞台へ～

お話の内容
• 自衛官から舞踊スタッフになるまでのきっかけや、葛藤
• 母の影響で始めた文化伝承の難しさ、部隊から舞台への道のり など
2025.06.29/07.06放送回 出演者：芸能課主事 中島綾菜(写真右)



【テーマ】阿寒から世界へ ～マウンテンバイクとともに

お話の内容
• 阿寒で活動しものづくりを始めたきっかけ
• ものづくりへのこだわりや、かける思い
2025.10.05/10.12放送回 出演者：熊の家藤戸代表 藤戸康平氏(写真左)



NATIONAL AINU MUSEUM
国立アイヌ民族博物館

<https://nam.go.jp/>



NATIONAL AINU MUSEUM and PARK
民族共生象徴空間

■お問い合わせ

公益財団法人 アイヌ民族文化財団(ウポポイ内)
住所：〒059-0902 北海道白老郡白老町若草町2丁目3番1号
電話：0144-82-3914 FAX:0144-82-3685
メール：info@ainu-upopoy.jp

プログラム等の詳しい情報はウポポイウェブサイトをご覧ください。

ウポポイ 検索

<https://ainu-upopoy.jp/>

